

～平成 30 年度～

青少年のネット利用実態調査結果

平成 31 年 4 月

大分県生活環境部私学振興・青少年課

公益財団法人ハイパーネットワーク社会研究所

目 次

○ 平成 30 年度「青少年のネット利用実態調査」結果について	P 1
○ 別紙		
1 青少年のインターネット利用機器・利用率	P 4
2 青少年のインターネット利用内容	P 5
3 青少年のインターネット利用時間	P 7
4 青少年のインターネット利用による生活の変化	P 8
5 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談	P 10
6 フィルタリングの利用状況等	P 15
7 家庭でのルール	P 16

平成 30 年度「青少年のネット利用実態調査」結果について

1. 調査目的

近年、青少年の周囲にも普遍的にインターネットが普及し利便性が高まる反面、インターネットに係るトラブルや事件に巻き込まれる問題が発生しており、ネット依存や生活習慣への影響なども危惧されている。

これらを未然に防止し、かつ青少年の情報活用能力を高めるためには、インターネット利用状況や活用方法、トラブル事例などに加え、保護者の認知状況など実態を把握したうえで今後の施策に反映させることが重要であるため、子どもの利用実態や保護者の意識等を調査する。

2. 調査対象

調査は、県内の小学校、中学校、高等学校の児童生徒 5,000 人とその保護者の計 1 万人を対象に行った。

対象となる学校は、地域に偏りが無いよう抽出した。今年度の調査票の配布数と回収率は表 1 のとおり。

(表 1 調査票の配布数と回収率)

		小学 2 年	回収率	小学 5 年	回収率	中学 2 年	回収率	高校 1 年	回収率	総数	全回収率
児童生徒	配布数	802 人	97.3%	883 人	99.1%	1,657 人	91.6%	1,776 人	95.0%	5,118 人	95.0%
	回答数	780 人		875 人		1,517 人		1,688 人		4,860 人	
保護者	配布数	802 人	84.2%	883 人	85.5%	1,657 人	79.9%	1,776 人	73.3%	5,118 人	79.2%
	回答数	675 人		755 人		1,324 人		1,301 人		4,055 人	

3. 調査方法

調査票（紙面）による調査を行った。調査内容は対象者に合わせて、質問項目や内容、表現を調整して調査票を作成した（小学生・中高校生・保護者の 3 種類作成）。

4. 調査期間

平成 30 年 7 月～8 月

5. 調査内容

調査は主に大きく分けて以下のような項目で行った。

- (1) インターネットを利用する機器、内容、環境
- (2) インターネット利用による生活の変化
- (3) インターネット利用時のトラブル等と相談
- (4) フィルタリングの利用状況と家庭のルール
- (5) 保護者自身のインターネット利用に関すること

6. 調査結果の概要（調査結果の数値は「別紙」のとおり）

(1) 青少年のインターネット利用機器・利用率

- 青少年のインターネット利用率が増えており、全体で約 9 割の子どもたちが利用している。
- 利用機器は、スマートフォン、携帯ゲーム機、タブレット端末が上位で、高校生はパソコン利用も多い。
- 保護者と子ども自身の回答とを比較すると、個々の機器では、保護者の把握以上に子どもたちがインターネットを利用している。
- 特に、携帯ゲーム機での差が大きい。平成 29 年度よりは差は縮まっているが、平成 30 年度は 14.2 ポイント差があった。

(2) 青少年のインターネット利用内容

- 青少年のインターネット利用内容は、小学生・中学生ともに動画視聴、ゲーム、情報検索が上位、高校生では SNS、動画視聴、情報検索が上位となっている。

○利用しているソーシャルメディアは、中学生はYouTube、LINE、SNOWの順番に多く、高校生はLINEが93.4%と圧倒的に多く、YouTube、SNOW、Twitterと続く。
○スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに概ね「分からないことを調べる、情報収集」、「家族や友達との連絡手段」、「家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ」、「趣味を楽しむ」が上位である。また、「暇つぶし」で利用している生徒が約5割いた。

(3) 青少年のインターネット利用時間

○青少年の平日のインターネット利用時間は、1時間～2時間未満が最も多い。
○平日2時間以上のネット利用は、小学生17.4%、中学生39.4%、高校生44.2%であった。（子ども回答）
○4時間以上のネット利用は、小学5年生で5.9%、中学生10.0%、高校生12.5%であった。（子ども回答）
○保護者が把握している利用時間よりも子どもの利用時間が全体的に多く、2時間以上の利用では、小学生で8.9ポイント、中学生で15.9ポイント、高校生で9.7ポイントの差がある。

(4) 青少年のインターネット利用による生活の変化

○保護者及び子どもともに「インターネット利用による生活の変化は特にない」という回答が多い。
○子どもはインターネットにより「友人関係が良好になって」と良い（プラス）傾向を示す回答が多いが、「使いすぎ・依存の傾向がある」と悪い（マイナス）傾向を示す回答も多かった。
○保護者は全体的には「使いすぎ・依存の傾向がある」、「睡眠不足」と悪い（マイナス）傾向を示す回答が多かった。
○また、「使いすぎ・依存の傾向がある」では、中学生が16.1ポイント、高校生が8.4ポイントそれぞれ保護者の方が高い。

(5) 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談

○子どもの回答では、小学生は「悪口や嫌がらせのメッセージを送られた 等」、「ゲームやアプリでお金を使いすぎた」が上位、中学生は「知らない人からメッセージが来た、迷惑メールが届いた」、「悪口や嫌がらせのメッセージを送られた 等」が上位、高校生になると「SNS などやりとりで嫌な思いをした」も上位になっている。
○保護者の中には、「分からない」と子どものトラブルを未把握な保護者も多い。（中学生保護者12.2%、高校生保護者18.6%）
○ネット利用時の相談先については、家族、友人が上位であり、誰にも相談しなかった子どもが全体で12.5%いる。
○相談しなかった理由は、55.9%が「自己解決」。20.6%は「相談することで問題が大きくなると思った」と回答しており、子どもが誰にも相談せずに自己解決している現状が推察された。
○「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」は、中学生22.7%、高校生36.5%であった。（子ども回答）
○「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生1.6%（24人）、高校生4.7%（79人）、「異性に会った」が中学生0.7%（10人）、高校生3.0%（51人）であった。（子ども回答）
○「会ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生5.1%（78人）、高校生6.9%（116人）であった。
○会ったことがない人とやりとりすることについては、「会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う」が、中学生53.2%、高校生52.2%であり、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生5.7%（86人）、高校生6.5%（110人）であった。（子ども回答）
○「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、中学生10名、高校生14名が「ある」と回答している。
○また、「写真を要求されたことはあるが送っていない」が、中学生32名、高校生66名いた。（子ども回答）
○いわゆる「自画撮り」によりその後性的被害に遭うなどの事件に巻き込まれることを知っているかについては、「知らない」と中学生48.4%、高校生33.9%が回答している。（子ども回答）

(6) フィルタリングの利用状況等

○フィルタリング利用状況は、全体で45.0%であり、平成29年度調査から7.1ポイント減少している。

- 使用するフィルタリングは、携帯電話事業者が提供するフィルタリングが一番多い。
- 保護者の子どもに対するネット利用に関する取組としては、「子どもの使い方に関心を持つ」が58.6%で一番多く、続いて、「家庭でルールを設ける」45.7%、「マナーや危険性を話し合う」が42.5%であった。

(7) 家庭でのルール

- 家庭でのルールについては、保護者は81.5%が「ルールあり」と回答しているが、子どもは「ルールあり」が62.6%にとどまり、保護者と子どもの「ルールあり」の差は18.9ポイントある。
- ルールの内容は「利用する時間」が保護者・子どもともに多い。
- ルールが守られているかについては、子どもの55.2%、保護者の59.0%が「守られている」と回答。
- 保護者の「ルールを決めていない」理由としては、「子どもに任せておいて大丈夫」が56.5%と半数以上を占める。

～参考～

☆ 青少年の健全な育成に関する条例（昭和41年大分県条例第40号）【抜粋】

（青少年のインターネット接続機器利用に係る保護者等の責務）

第22条 保護者は、青少年有害情報フィルタリングソフトウェア又は青少年有害情報フィルタリングサービスの利用により、インターネットと接続する機能を有する機器を適切に管理し、青少年が当該機器を使用して青少年有害情報を閲覧し、又は視聴することがないように努めるとともに、青少年がインターネットを利用して違法な行為をし、又は自己若しくは他人に対し有害な行為をすることを防ぐため、青少年のインターネットの利用を適切に管理するように努めなければならない。

- 2 保護者は、家庭、地域その他の場において、インターネットの利用に関する青少年の健全な判断能力の育成を図るため、自らもインターネットの利用に伴う危険性及び過度の利用による弊害についての理解並びにこれらの除去に必要な知識の習得に努めるとともに、これらを踏まえて青少年とともにインターネットの利用に当たり遵守すべき事項を定めるなど適切な利用の確保に努めるものとする。

平成30年度「青少年のネット利用実態調査」結果

1 青少年のインターネット利用機器・利用率

- 青少年のインターネット利用率が増えており、全体で約9割の子どもたちが利用している。
 ○ 利用機器は、スマートフォン、携帯ゲーム機、タブレット端末が上位で、高校生はパソコン利用も多い。
 ○ 保護者と子ども自身の回答とを比較すると、個々の機器では、保護者の把握以上に子どもたちがインターネットを利用している。
 特に、携帯ゲーム機での差が大きい。平成29年度よりは差は縮まっているが、平成30年度は14.2ポイント差があった。

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		30年度 n=1655	29年度 n=1584	28年度 n=1604	30年度 n=1517	29年度 n=1552	28年度 n=1635	30年度 n=1688	29年度 n=1669	28年度 n=1576	30年度 n=4860	29年度 n=4805	28年度 n=4815
1	スマートフォン	44.0	41.7	48.2	56.0	57.3	55.1	93.4	96.2	93.8	64.9	65.7	65.5
2	携帯電話	16.7	18.4		9.3	10.8		9.8	9.4		12.0	12.8	
3	パソコン	26.0	27.1	31.9	33.6	36.5	38.3	36.9	37.6	38.3	32.2	33.7	36.2
4	携帯ゲーム機	49.7	49.6	43.5	52.8	50.4	34.4	33.2	32.4	26.0	45.0	44.1	34.7
5	タブレット端末	42.1	39.6	34.2	29.4	43.3	31.3	29.4	26.4	18.3	38.6	36.4	28.0
6	携帯音楽プレイヤー	8.9	7.5	8.3	17.3	21.3	22.9	14.7	18.8	14.6	13.5	15.9	15.3
7	インターネット利用機器はない	6.9	8.8	10.8	2.4	2.6	3.7	0.5	0.2	0.8	3.3	3.9	5.1
8	わからない	14.5	15.8	13.3	2.7	1.2	2.6	0.8	0.1	1.0	6.1	5.7	5.6
(再掲)	インターネット接続機器あり (利用率)	78.6	75.4	75.9	94.9	96.2	93.7	98.7	99.7	98.2	90.6	90.4	89.3

② 保護者回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校			高校			全体		
		30年度 n=1430	29年度 n=1297	28年度 n=1414	30年度 n=1324	29年度 n=1284	28年度 n=1411	30年度 n=1301	29年度 n=1335	28年度 n=1287	30年度 n=4055	29年度 n=3916	28年度 n=4112
1	スマートフォン	38.0	38.5	32.7	48.2	45.5	46.4	90.5	92.5	96.7	58.2	59.2	57.4
2	携帯電話	5.0	3.8		5.3	6.6		6.4	7.9		5.5	6.1	
3	パソコン	16.3	17.0	23.9	22.9	29.1	33.8	31.7	30.3	30.6	23.4	25.5	29.4
4	携帯ゲーム機	35.0	31.4	26.0	35.6	31.2	25.7	21.3	15.4	17.7	30.8	26.0	23.3
5	タブレット端末	43.0	40.6	31.1	43.5	40.7	31.8	26.5	22.9	14.0	37.9	34.7	26.0
6	携帯音楽プレイヤー	2.1	3.0	3.3	11.6	14.0	16.7	10.9	12.2	11.0	8.0	9.7	10.3
7	インターネット利用機器はない	15.1	15.5	20.9	4.6	5.0	5.2	0.6	1.0	1.5	7.0	7.2	9.5
8	わからない	1.1	0.4	0.6	0.7	0.5	0.4	0.8	0.4	0.9	0.9	0.4	0.6
(再掲)	インターネット接続機器あり (利用率)	83.8	84.1	78.5	94.7	94.5	94.3	98.6	98.6	97.7	92.1	92.4	89.9

2 青少年のインターネット利用内容

- 青少年のインターネット利用内容は、小学生・中学生ともに動画視聴、ゲーム、情報検索が上位、高校生ではSNS、動画視聴、情報検索が上位となっている。
- 利用しているソーシャルメディアは、中学生はYouTube、LINE、SNOWの順番に多く、高校生はLINEが93.4%と圧倒的に多く、YouTube、SNOW、Twitterと続く。
- スマホやネットを利用する理由は、中学生・高校生ともに概ね「分からないことを調べる、情報収集」、「家族や友達との連絡手段」、「家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ」、「趣味を楽しむ」が上位である。また、「暇つぶし」で利用している生徒が約5割いた。

① 利用するサービス(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1517	高校 n=1688	全体 n=4860
		小2 n=780	小5 n=875	小(計) n=1655			
1	SNS	18.6	32.8	26.1	55.6	86.4	56.3
2	動画視聴	60.3	74.5	67.8	79.4	78.8	75.2
3	音楽視聴	26.7	37.7	32.5	51.0	65.9	49.9
4	ゲーム	53.2	70.4	62.3	60.3	60.9	61.2
5	情報検索	19.2	51.8	36.4	65.0	67.5	56.2
6	ニュース	22.3	18.5	20.3	16.5	23.2	20.1
7	地図・ナビゲーション	12.2	12.9	12.6	16.2	28.1	19.1
8	電子書籍(読書)	18.8	11.0	14.7	17.9	19.7	17.4
9	ショッピング・オークション	10.6	8.7	9.6	9.2	14.4	11.1
10	お小遣いサイト				0.8	0.9	0.8
11	勉強のページやアプリ	13.2	22.7	18.2	10.0	12.8	13.8
12	利用していない	18.1	7.1	12.3	4.4	0.9	5.9

② 利用しているソーシャルメディアの種類(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1517	高校 n=1688	全体 n=3205
		小2	小5	小(計)			
1	LINE				63.1	93.4	79.1
2	Facebook				6.7	8.2	7.5
3	Twitter				20.0	52.0	36.8
4	Instagram				15.2	45.7	31.3
5	SNOW				34.5	53.2	44.3
6	Google+				20.8	18.6	19.6
7	YouTube				70.7	73.5	72.2
8	ツイキャス				4.0	6.9	5.5
9	MixChannel				10.9	9.7	10.3
10	ニコニコ動画・生放送				13.5	11.8	12.6
11	TicTok				30.1	29.3	29.7
12	利用していない				11.5	1.6	6.3

③スマホ、ネットやアプリ等を利用する理由（子ども回答）

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1517	高校 n=1688	全体 n=3205
		小2	小5	小(計)			
1	分からないことを調べる、情報収集				68.9	81.1	75.3
2	家族や友達との連絡手段				58.1	84.6	72.1
3	家族や友達とのコミュニケーションを楽しむ				38.6	59.2	49.5
4	自分の活動を多くの人に知ってもらう				2.4	5.2	3.9
5	趣味を楽しむ				51.4	54.1	52.8
6	スケジュールを調整する				2.8	7.8	5.5
7	みんながやっているから				13.1	8.5	10.7
8	暇つぶし				51.4	47.5	49.3
9	お小遣いを稼ぐため				0.5	0.9	0.7
10	利用していない				3.6	0.1	1.8
11	その他				0.7	0.2	0.5

3 青少年のインターネット利用時間

- 青少年の平日のインターネット利用時間は、1時間～2時間未満が最も多い。
- 平日2時間以上のネット利用は、小学生17.4%、中学生39.4%、高校生44.2%であった。（子ども回答）
- 4時間以上のネット利用は、小学5年生で5.9%、中学生10.0%、高校生12.5%であった。（子ども回答）
- 保護者が把握している利用時間よりも子どもの利用時間が全体的に多く、2時間以上の利用では、小学生で8.9ポイント、中学生で15.9ポイント、高校生で9.7ポイントの差がある。

① 平日の利用時間(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=780	小5 n=875	小(計) n=1655			
					n=1517	n=1688	n=4860
1	使わない	33.6	11.5	21.9	5.8	1.2	9.7
2	30分未満	21.9	18.9	20.3	9.2	5.3	11.6
3	30分～1時間未満	17.9	23.3	20.8	17.2	18.0	18.7
4	1時間～2時間未満	11.4	22.6	17.3	27.9	31.0	25.4
5	2時間～3時間未満	5.3	9.3	7.4	20.4	20.3	15.9
6	3時間～4時間未満	1.7	6.3	4.1	8.9	11.4	8.1
7	4時間以上	4.6	7.1	5.9	10.0	12.5	9.5
8	無回答	3.6	1.0	2.2	0.6	0.3	1.0
(再掲)	2時間以上利用	11.5	22.6	17.4	39.4	44.2	33.6

② 平日の利用時間(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2 n=675	小5 n=755	小(計) n=1430			
					n=1324	n=1301	n=4055
1	使わない	32.0	19.5	25.4	9.9	1.4	12.6
2	30分未満	23.4	23.3	23.4	13.7	7.5	15.1
3	30分～1時間未満	20.6	24.9	22.9	23.0	21.1	22.3
4	1時間～2時間未満	16.6	19.3	18.0	27.9	29.4	24.9
5	2時間～3時間未満	3.9	7.5	5.8	14.5	20.4	13.3
6	3時間～4時間未満	1.2	3.0	2.2	5.3	9.0	5.4
7	4時間以上	0.1	0.8	0.4	3.7	5.1	3.0
8	わからない	1.0	1.2	1.1	1.6	5.8	2.8
(再掲)	2時間以上利用	5.2	11.4	8.5	23.5	34.5	21.7

4 青少年のインターネット利用による生活の変化

- 保護者及び子どもともに「インターネット利用による生活の変化は特にない」という回答が多い。
- 子どもはインターネットにより「友人関係が良好になった」と良い（プラス）傾向を示す回答が多いが、「使いすぎ・依存の傾向がある」と悪い（マイナス）傾向を示す回答も多かった。
- 保護者は全体的には「使いすぎ・依存の傾向がある」、「睡眠不足」と悪い（マイナス）傾向を示す回答が多かった。
- また、「使いすぎ・依存の傾向がある」では、中学生が16.1ポイント、高校生が8.4ポイントそれぞれ保護者の方が高い。

① 子ども回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1517	高校 n=1688	全体 n=3205
		小 2	小 5	小 (計)			
1	家族のコミュニケーションが増えた				12.6	11.9	12.5
2	家族のコミュニケーションが減った				9.1	9.5	9.5
3	成績が上がった				5.3	3.9	4.6
4	成績が下がった				14.4	16.0	15.5
5	睡眠不足になった				21.5	21.9	22.1
6	目が悪くなった				18.3	20.2	19.7
7	本を読まなくなった				8.0	13.4	11.1
8	テレビを見なくなった				13.0	26.5	20.5
9	友人関係が良好になった				26.3	23.6	25.4
10	友人関係を気にするようになった				9.4	11.3	10.6
11	友達が減った				0.9	0.5	0.7
12	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになるときがある				6.1	7.4	6.9
13	勉強に集中できない				11.6	13.9	13.1
14	使いすぎ・依存の傾向がある				17.4	27.0	22.9
15	特に変わりはない				28.6	21.7	25.5
16	わからない				6.5	7.8	7.4

② 保護者回答

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=675	小 5 n=755	小 (計) n=1430			
1	家族のコミュニケーションが増えた	6.2	6.5	6.4	7.3	11.1	8.2
2	家族のコミュニケーションが減った	6.7	9.3	8.0	15.3	19.0	13.9
3	成績が向上している	0.3	0.9	0.6	1.8	2.5	1.6
4	成績が低下している	1.3	3.6	2.5	15.9	17.2	11.6
5	睡眠不足になった	2.5	8.1	5.5	23.0	25.1	17.5
6	目が悪くなった	7.1	11.7	9.5	17.9	19.2	15.4
7	本を読まなくなった	5.8	8.1	7.0	11.0	12.7	10.1
8	テレビを見なくなった	7.1	11.3	9.3	16.7	24.1	16.4
9	友人関係が良好になった	2.2	4.9	3.6	7.7	13.9	8.3
10	友人関係を気にするようになった	0.3	1.7	1.0	5.4	5.9	4.0
11	友達が減った	0.1	0.3	0.2	0.5	0.7	0.5
12	友達とのやりとりで不安な気持ち、嫌な気持ちになるときがある	0.4	0.5	0.5	4.5	5.0	3.2
13	勉強に集中できない	6.2	8.3	7.3	16.3	17.4	13.5
14	使いすぎ・依存の傾向がある	18.4	21.5	20.0	33.5	35.4	29.3
15	特に変わりはない	37.0	35.2	36.1	24.2	21.4	27.5
16	分からない	3.3	3.4	3.4	2.3	4.0	3.2

5 青少年のインターネット利用時のトラブルと相談

- 子どもの回答では、小学生は「悪口や嫌がらせのメッセージを送られた 等」、「ゲームやアプリでお金を使いすぎた」が上位、中学生は「知らない人からメッセージが来た、迷惑メールが届いた」、「悪口や嫌がらせのメッセージを送られた 等」が上位、高校生になると「SNSなどやりとりで嫌な思いをした」も上位になっている。
- 保護者の中には、「分からない」と子どものトラブルを未把握な保護者も多い。(中学生保護者12.2%、高校生保護者18.6%)

① ネット利用時の問題やトラブル(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1517	高校 n=1688	全体 中高n=3205/ 小中高n=4860
		小2 n=780	小5 n=875	小(計) n=1655			
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	4.1	3.2	3.6	5.5	6.9	6.3/5.4
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	1.5	1.1	1.3	1.8	2.0	1.9/1.7
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	3.6	1.3	2.4	4.6	9.4	7.1/5.5
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ				0.9	1.3	1.1
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た				3.3	4.3	3.8
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	4.6	2.1	3.3	1.8	2.5	2.2/2.5
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした				0.4	0.6	0.5
8	知らない人やお店等からメッセージが来たり、迷惑メールが届いた	1.4	3.4	2.5	7.6	19.4	13.8/9.9
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)				2.8	5.2	4.1
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)				0.5	2.0	1.3
11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDが使われた等)				0.9	1.5	1.2
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた				0.0	0.2	0.1
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	1.3	1.1	1.2	2.8	2.0	2.4/2.0
14	トラブルの経験はない	58.2	69.3	64.2	64.4	56.7	60.3/61.5
15	わからない	14.2	7.7	10.8	8.0	8.9	8.5/9.3

② ネット利用時の問題やトラブル(保護者回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1324	高校 n=1301	全体 n=4055
		小2 n=675	小5 n=755	小(計) n=1430			
1	悪口や嫌がらせのメッセージ送られた、書き込みされた、無視や仲間外れ	0.1	0.7	0.4	3.6	4.7	2.8
2	悪口や嫌がらせのメッセージを送った、書き込みした、無視や仲間外れした	0.1	0.4	0.3	1.5	1.0	0.9
3	SNSなどやりとりで嫌な思いをした	0.0	0.5	0.3	5.2	7.1	4.1
4	掲示板等で、自分や他人の情報(名前や写真、メールアドレス、IDなど)を書き込んだ	0.6	0.3	0.4	1.0	1.3	0.9
5	怪しいサイトやいやらしいサイトを見た	1.6	1.9	1.7	3.0	1.1	1.9
6	ゲームやアプリでお金を使いすぎた	0.4	0.8	0.6	1.5	1.9	1.3
7	プライバシーを侵害、差別的な内容が掲載されているサイトにアクセスした	0.1	0.3	0.2	0.0	0.2	0.1
8	自分が知らない人やお店等からメッセージやメールが送られてきた	0.1	0.7	0.4	5.1	8.5	4.5
9	ワンクリック詐欺の被害(Webを見ていて金額を請求された等)	0.0	0.0	0.0	0.5	0.2	0.2
10	プライバシーの侵害(個人情報、隠しておきたいことを勝手に公開された等)	0.0	0.0	0.0	0.4	1.4	0.6

11	なりすましの被害に遭った(勝手に自分のIDが使われた等)	0.0	0.0	0.0	0.2	0.5	0.2
12	いじめや暴力行為、裸の画像や動画を撮影、送信、アップされた	0.0	0.0	0.0	0.1	0.0	0.0
13	コンピュータウイルスなどの被害にあった	0.0	0.3	0.0	1.1	0.6	0.6
14	トラブルの経験はない	67.1	74.4	71.0	63.6	57.6	64.3
15	わからない	3.0	4.6	3.8	12.2	18.6	11.3

○ ネット利用時の相談先については、家族、友人が上位であり、誰にも相談しなかった子どもが全体で12.5%いる。

③ ネット利用時の相談先(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=326	高校 n=546	全体 n=1382 (6~7:n=872)
		小2 n=240	小5 n=270	小(計) n=510			
1	家族に相談した	44.6	50.0	47.5	36.8	37.0	40.8
2	学校の先生に相談した	17.9	14.1	15.9	5.5	4.9	9.1
3	友人に相談した	15.8	15.6	15.7	30.1	33.7	26.2
4	ネット上の友達に相談した	6.3	3.3	4.7	3.7	4.6	4.4
5	知り合いの大人に相談した	3.3	1.5	2.6	0.6	1.8	1.7
6	消費者相談・ネットあんしんセンター等専門相談窓口、警察				0.3	1.3	0.9
7	「Yahoo!知恵袋」や「教えて!goo」などの質問・相談サイト				10.4	5.5	7.3
8	トラブルはあるが誰にも相談しなかった	12.1	15.6	13.9	12.6	11.2	12.5

○ 相談しなかった理由は、55.9%が「自己解決」。20.6%は「相談することで問題が大きくなると思った」と回答しており、子どもが誰にも相談せずに自己解決している現状が推察された。

④ トラブル時に誰にも相談しなかった理由(子ども回答)

単位(%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=41	高校 n=61	全体 n=102
		小2	小5	小(計)			
1	相談先がわからなかった				7.3	1.6	3.9
2	自己解決した				53.7	57.4	55.9
3	相談するのが恥ずかしかった				9.8	4.9	6.9
4	相談することで問題が大きくなると思った				22.0	19.7	20.6

- 「ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりした」は、中学生22.7%、高校生36.5%であった。(子ども回答)
- 「ネットで知り合った人と実際に会った」では、「同性に会った」が中学生1.6% (24人)、高校生4.7% (79人)、「異性に会った」が中学生0.7% (10人)、高校生3.0% (51人)であった。(子ども回答)
- 「会ったことはないが、会いたいと思った」は、中学生5.1% (78人)、高校生6.9% (116人)であった。(子ども回答)
- 会ったことがない人とやりとりすることについては、「会ったことがない人と実際に会うのは危険だと思う」が、中学生53.2%、高校生52.2%であり、「会ったことがない人とやり取りして、いい人だと思えば会うことは危険ではないと思う」が、中学生5.7% (86人)、高校生6.5% (110人)であった。(子ども回答)

⑤-1 ネットで知り合った人とのやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1517		高校 n=1688		全体 n=3205	
		小2	小5	小(計)	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした				345	22.7	616	36.5	961	30.0
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った				24	1.6	79	4.7	103	3.2
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った				10	0.7	51	3.0	61	1.9
4	会ったことはないが、会いたいと思った				78	5.1	116	6.9	194	6.1
5	このような経験はない				1053	69.4	942	55.8	1995	62.2
6	わからない				70	4.6	87	5.2	157	4.9

⑤-2 子どもがネットで知り合った人とのやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容 (複数回答)	小学校			中学校 n=1324		高校 n=1301		全体 n=2625	
		小2	小5	小(計)	人	%	人	%	人	%
1	ネットで知り合った会ったことがない人とメッセージやメール等のやりとりをした				110	8.3	193	14.8	303	11.5
2	ネットで知り合った人(同性)とやり取りして、実際に会った				1	0.1	30	2.3	31	1.2
3	ネットで知り合った人(異性)とやり取りして、実際に会った				4	0.3	15	1.2	19	0.7
4	会ったことはないが、会いたいと思った				13	1.0	12	0.9	25	1.0
5	このような経験はない				1102	83.2	910	69.9	2012	76.6
6	わからない				94	7.1	182	14.0	276	10.5

⑥-1 会ったことがない人とやりとりすること(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n = 1517		高校 n = 1688		全体 n = 3205	
		小 2	小 5	小 (計)	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う				195	12.9	251	14.9	446	13.9
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う				86	5.7	110	6.5	196	6.1
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う				696	45.9	568	33.6	1264	39.4
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う				807	53.2	881	52.2	1688	52.7
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う				56	3.7	58	3.4	114	3.6
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う				38	2.5	60	3.6	98	3.1
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う				15	1.0	12	0.7	27	0.8
8	わからない				231	15.2	35	2.1	266	8.3

⑥-2 子どもが会ったことがない人とやりとりすること(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校 n = 1324		高校 n = 1301		全体 n = 2625	
		小 2	小 5	小 (計)	人	%	人	%	人	%
1	特に問題はないと思う				21	1.6	40	3.1	61	2.3
2	会ったことがない人とやり取りして、いい人と思えば会うことは危険ではないと思う				40	3.0	53	4.1	93	3.5
3	会ったことがない人と、ネットでやり取りするのは危険があると思う				984	74.3	885	68.0	1869	71.2
4	会ったことがない人と実際に会うのは危険があると思う				882	66.6	860	66.1	1742	66.4
5	しつこく会おうと誘われたら断れないと思う				103	7.8	74	5.7	177	6.7
6	相手に好意を持っていれば会いたいと思う				40	3.0	33	2.5	73	2.8
7	興味本位・面白半分で会ってもいいと思う				3	0.2	2	0.2	5	0.2
8	わからない				40	3.0	49	3.8	89	3.4

- 「これまでに自分の裸や下着姿の写真を他人に送ったことがあるか」との問いに、中学生10名、高校生14名が「ある」と回答している。(子ども回答)
- また、「写真を要求されたことはあるが送っていない」が、中学生32名、高校生66名いた。(子ども回答)
- いわゆる「自画撮り」によりその後性的被害に遭うなどの事件に巻き込まれることを知っているかについては、「知らない」と中学生48.4%、高校生33.9%が回答している。(子ども回答)

⑦-1 裸や下着姿の写真のやりとり(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校			中学校 n = 1510		高校 n = 1686		全体 n = 3196	
		小2	小5	小(計)	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある				10	0.7	14	0.8	24	0.7
2	写真を要求されたことはあるが送っていない				32	2.1	66	3.9	98	3.1
3	ない				1468	97.2	1606	95.3	3074	96.2

⑦-2 子どもが裸や下着姿の写真のやりとり(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校			中学校 n = 1311		高校 n = 1297		全体 n = 2608	
		小2	小5	小(計)	人	%	人	%	人	%
1	送ったことがある				23	1.8	22	1.7	45	1.7
2	写真を要求されたことはあるが送っていない				17	1.3	18	1.4	35	1.3
3	ない				1220	93.1	1144	88.2	2364	90.6
4	わからない				51	3.9	113	8.7	164	6.3

⑧-1 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(子ども回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校			中学校 n = 1517		高校 n = 1688		全体 n = 3205	
		小2	小5	小(計)	人	%	人	%	人	%
1	知っている				764	50.4	1101	65.2	1865	58.2
2	知らない				734	48.4	572	33.9	1306	40.7
3	わからない				19	1.3	15	0.9	34	1.1

⑧-2 自画撮りにより性的被害に遭うなどの事件が起きていることについて(保護者回答)

単位(人/%)

番号	内容	小学校			中学校 n = 1324		高校 n = 1301		全体 n = 2625	
		小2	小5	小(計)	人	%	人	%	人	%
1	知っている				1132	85.5	1096	84.2	2228	84.9
2	知らない				164	12.4	176	13.5	340	13.0
3	わからない				28	2.1	29	2.2	57	2.2

6 フィルタリングの利用状況等

- フィルタリング利用状況は、全体で45.0%であり、平成29年度調査から7.1ポイント減少している。
- 使用するフィルタリングは、携帯電話事業者が提供するフィルタリングが一番多い。
- 保護者の子どもに対するネット利用に関する取組としては、「子どもの使い方に関心を持つ」が58.6%で一番多く、続いて、「家庭でルールを設ける」45.7%、「マナーや危険性を話し合う」が42.5%であった。

① フィルタリングの利用状況について(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校			高校			全体		
		30年度	29年度	28年度	30年度	29年度	28年度	30年度	29年度	28年度	30年度	29年度	28年度
		n=979	n=370	n=127	n=1104	n=517	n=465	n=1280	n=1292	n=1156	n=3363	n=2179	n=1748
1	利用している	35.3	39.7	47.2	42.4	51.1	57.0	54.6	56.0	59.5	45.0	52.1	58.0
2	利用していない	38.9	39.5	38.6	38.1	29.0	28.2	26.9	25.0	24.0	34.1	28.4	26.2
3	利用していたが解除した	1.6	1.1	1.6	2.9	3.1	1.7	5.4	5.2	3.5	3.5	4.0	2.9
4	わからない	22.9	19.7	16.0	13.9	16.8	12.9	11.5	13.8	13.0	15.6	15.5	12.9

② フィルタリングの種類(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
		n=65	n=263	n=328	n=455	n=674	n=1457
1	携帯電話事業者が提供するフィルタリング	55.3	72.6	69.2	75.6	91.8	81.7
2	Wi-Fi等の無線LAN対応フィルタリング	20.0	27.4	25.9	13.4	3.0	11.4
3	アプリ対応フィルタリング	15.4	20.2	19.2	7.7	2.8	8.0
4	よくわからない	12.3	4.2	5.8	3.3	2.4	3.4

③ 青少年のインターネット利用で気をつけていること(監督方法)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小2	小5	小(計)			
		n=675	n=755	n=1430	n=1324	n=1301	n=4055
1	フィルタリング利用など、有害サイトへのアクセス制限	21.8	28.9	25.5	32.4	42.3	33.1
5	利用について家庭でルールを設ける	44.1	50.1	47.2	50.7	38.9	45.7
2	子どもがどのような使い方をしているか関心をもつ	51.4	64.0	58.0	61.5	56.4	58.6
3	インターネット利用のマナーや危険性を子どもと話し合	24.6	41.7	33.6	46.5	48.3	42.5
4	子どもの使い方を明細(金額・時間)や閲覧履歴で把	13.2	19.7	16.6	21.8	24.1	20.7
6	個人情報やパスワード等のプライバシー保護対策	18.8	27.7	23.5	24.4	22.8	23.6
7	ウイルス対策や不正アクセス対応	11.3	15.6	13.6	16.2	19.0	16.2
8	気をつけていることはない	2.5	12.1	2.3	6.4	1.2	3.6

7 家庭でのルール

- 家庭でのルールについては、保護者は81.5%が「ルールあり」と回答しているが、子どもは「ルールあり」が62.6%にとどまり、保護者と子どもの「ルールあり」の差は18.9ポイントある。
- ルールの内容は「利用する時間」が保護者・子どもともに多い。
- ルールが守られているかについては、子どもの55.2%、保護者の59.0%が「守られている」と回答。
- 保護者の「ルールを決めていない」理由としては、「子どもに任せておいて大丈夫」が56.5%と半数以上を占める。

① 家庭のルールの有無(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=624	小 5 n=762	小 (計) n=1386			
					n=1367	n=1630	n=4383
1	ルールあり	76.3	71.1	73.4	68.5	48.4	62.6
2	ルールなし	23.7	28.9	26.6	31.5	51.6	37.4

② 家庭のルールの有無(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=498	小 5 n=606	小 (計) n=1104			
					n=1188	n=1279	n=3571
1	ルールあり	89.8	87.8	88.7	85.2	72.0	81.5
2	ルールなし	10.2	12.2	11.3	14.8	28.0	18.5

③ ルールの内容(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=475	小 5 n=542	小 (計) n=1017			
					n=936	n=789	n=2742
1	利用する時間	77.9	78.2	78.1	66.6	526.0	66.8
2	利用する金額	7.6	9.8	8.8	9.8	15.6	11.1
3	利用する場所	20.8	26.4	23.8	16.7	19.4	20.1
4	利用する内容	18.3	21.8	20.2	20.6	21.8	20.8
5	成績が下がったら使えない	9.7	5.7	7.6	30.0	25.2	20.3

④ ルールの内容(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=447	小 5 n=532	小 (計) n=979			
					n=1012	n=921	n=2912
1	利用する時間	87.0	79.0	82.6	69.7	54.2	69.1
2	利用する金額	3.8	7.5	5.8	10.0	29.2	14.7
3	利用する場所	22.4	24.6	23.6	24.6	27.4	25.1
4	利用する内容	32.4	38.4	35.5	32.6	35.7	34.6
5	成績が下がったら使えない	3.1	6.6	5.2	30.7	28.9	21.6

⑤ ルールが守られているか(子ども回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=475	小 5 n=542	小 (計) n=1017			
1	守られている	65.3	58.9	61.8	51.2	51.3	55.2
2	少し守られている	27.2	35.4	31.6	36.5	35.7	34.5
3	あまり守られていない	10.3	8.3	9.2	12.6	15.0	12.0
4	ほとんど守られていない	6.7	2.4	4.4	4.9	7.5	5.5

⑥ ルールが守られているか(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=447	小 5 n=532	小 (計) n=979			
1	守られている	68.7	78.9	66.1	49.7	61.5	59.0
2	少し守られている	36.2	34.6	35.3	36.5	31.1	34.4
3	あまり守られていない	11.9	15.4	13.8	19.4	18.1	17.1
4	ほとんど守られていない	0.9	3.9	2.6	8.2	8.1	6.3

⑦ ルールを決めていない理由(保護者回答)

単位(%)

番号	内 容 (複数回答)	小学校			中学校	高校	全体
		小 2 n=51	小 5 n=74	小 (計) n=125			
1	子どもに任せておいて大丈夫	41.2	14.9	25.6	46.0	60.1	56.5
2	トラブルになると思わない	92.2	20.3	49.6	6.8	8.9	18.2
3	ルールを作っても守らない	29.4	31.1	30.4	27.3	22.3	28.6
4	ルールづくりが分からない	39.2	9.5	21.6	3.4	4.2	8.3
5	家庭内ルールを作ると保護者も守る必要がでてる	25.5	4.1	12.8	2.8	2.0	4.8